



2012年度札幌学院大学第1回経済学部講演会のご案内

札幌学院大学経済学部では、以下の要領で第1回経済学部講演会を開催いたします。多くの市民の皆様にお越しいただきたく、ご案内申し上げます。受講料無料、事前申込不要です。

【テーマ】現在のなかに未来が見えている — 資本主義社会がアソシエーションを産みおとす—

【講師】大谷 禎之介(おおたにていのすけ)氏(法政大学名誉教授)

【講演概要】

世紀の変わり目に行なわれた、1000年間の偉大な思想家を問う二つのアンケートで、マルクスは1位と2位とを占めた。その理由は、彼が『資本論』を書いて、現代の社会システムである資本主義についての理論を確立したからであろう。彼は、現代社会の土台をなす資本主義的生産様式を理論的に分析して、資本主義社会の運動法則を体系的に叙述した。興味深いのは、彼がそのなかで、資本主義社会が自分の胎内に懐胎している胎児——アソシエーション——を産みおとすことをも明らかにしていることである。この講演では、現在の社会のなかに未来の社会を見抜く、というマルクスの未来社会論について、その独特の性格をいくつかの観点から見たうえで、彼がアソシエーションと呼んだ未来社会がどのようなものであったか、六つの特徴を挙げて説明する。

【日時】2012年 6月12日(火) 13時10分～14時40分

【場所】札幌学院大学 D101教室(D館1階)

江別市文京台11番地

【対象者】本学学生・教職員及び一般市民の皆様

【受講料】無料

【申込み】必要ありません。当日直接会場にお越しください。

【問合せ先】札幌学院大学教務課経済学部係 (TEL: 011-386-8111 ex3212、3222)

※この資料は、江別市政記者クラブ、北海道教育記者クラブに配布しています。

取材のお申し込み：札幌学院大学広報課 山本 (Tel:011-386-8111 ex.2310)